日本地球惑星連合2015年大会・土壌セッション

“Soil Session” at Japan Geoscience Union 2015 Meeting

2015年5月24日～29日に開催される日本地球惑星連合（JpGU）2015年大会の中で、土壌学の挑戦と可能性をテーマとした国際セッション（発表言語：英語）を行います。地球科学、生態学、環境科学といった大きな枠組みの中で、土壌研究の今後の方向性を再考することが狙いです。国際土壌年であることから、土壌肥料学会、ペドロジー学会、生物地球化学研究会、そして国際土壌科学連合（IUSS）の共催のもと実現しました。

本セッションでは、土壌や土壌プロセスに関するあらゆる発表を歓迎します。AGUやEGUに参加しても感じますが、いま土壌は、農学だけでなく、生態学や地球科学など多くの分野で注目されています。このセッションの成否は、皆さんの参加にかかっています（JpGUでは、参加登録者の数に応じて口頭発表者数が割り振られる仕組み）。皆さんの参加・発表をお待ちしております。

また本セッションでは、世界的に活躍する土壌学者・生態学者にも講演して頂きます。既に確定しているのは、UC-Santa BarbaraのOliver Chadwick教授と、京都大学の北山兼弘教授です（次頁参照）。その他にも土壌学・生態学・生物地球化学の分野の気鋭の研究者に発表して頂く予定です。当日の夜には懇親会を行います。そこで、さらに議論し、親睦を深めましょう。

【M－IS03】 Exploring the role of soil in earth science: ecological/biogeochemical linkage and beyond

土壌学の挑戦と可能性－地球科学・生態学・生物地球化学との接点

コンビーナー： 和穎朗太（農業環境技術研究所）、小崎隆（首都大学東京）
http://www.jpgu.org/meeting/session_list/detail/MIS03.html

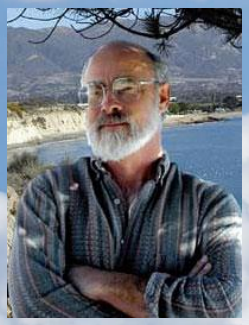
◎ 日程/important dates

事前参加登録受付開始 (Abstract submission starts on)： １月　８日 (Jan. 8th)
予稿集原稿投稿締切 (Abstract deadline)： ２月３日 (Feb. 3rd) ２３：５９　早期締切 (early bird)
２月１８日 (Feb 18th) １２：００　最終締切 (final deadline)
事前参加登録締切 (Early registration deadline)： ５月１２日(May 12th) １７：００

◎ **予稿集原稿投稿先 (abstract submission from)**： http://www.jpgu.org/meeting/submission_t.html
【注】投稿される際、コンビーナー（和穎、下記にアドレス）宛てに別途メールをお願いします。

◎ **投稿に必要な入力情報：** 下記リンクをご覧下さい
http://www.jpgu.org/meeting/downloads/input.pdf
【注】希望セッションは「M-IS03」として下さい。要旨（予稿）は、英語でお願いします。

Oliver Chadwick (Univ. of California-Santa Barbara, Dept of Geography)



Chadwick教授は、地球科学的視点から土壌学の新しい可能性を切り拓いてこられた研究者です。代表的な研究として、①ハワイの数百万年間の風化・溶脱を受けた土壌に森林が成立できるのは、遙か東方のゴビ砂漠からのダストによるリンの供給であることを突き止めたNature論文、②土壌生成年代、気候条件が土壌鉱物組成を規定し、土壌鉱物組成（特に鉄酸化物や非晶質鉱物）が植物の生産性および土壌の炭素蓄積量を規定することを示す一連の研究、③土壌生成因子が、ポリネシア人によるハワイ諸島およびイースター島の農耕に及ぼした影響に関する研究、などが挙げられ、これまで非常にインパクトの高い研究を数多く発表されています。

http://scholar.google.co.jp/citations?user=G8HrBaYAAAAJ&hl=ja

北山兼弘 （京都大学・農学部・森林生態学）

北山教授は、ハワイおよびその他のポリネシア諸島における植生の進化、適応、および植物・土壌相互作用の研究を行うと同時に、大陸に近く面積の広いボルネオ島における熱帯林の多様性と生態系機能、および熱帯林の管理・保全に関する研究をされています。多様性の高いボルネオ熱帯林において、気候条件および（地質、地形、風化時間などによって生じる）土壌の資源勾配に注目し、樹種の入れ替わり、樹種組成の変化、土壌・植物間のフィードバック等に関して、オリジナルな研究を進められています。

http://www.rfecol.kais.kyoto-u.ac.jp/syoukai/KITAYAMA/results/index.html

◎投稿料

早期投稿料 ¥3,000/1件、通常投稿料 ¥4,000/1件、（図の掲載 ¥500/1件）

◎参加登録料

＜一般＞

【全日】 事前：¥16,000 / 当日：¥22,000

【一日】 事前：¥10,000 / 当日：¥15,000

＜一般(非会員)＞

【全日】 事前：¥24,000 / 当日：¥27,000

【一日】 事前：¥20,000 / 当日：¥22,000

(*) 早期投稿料金は，締め切りまでにお支払いが完了された場合にのみ適用されます． ２月３日(火)の締切時刻にお支払い確認ができなかった場合は，自動的に通常投稿料金に変更されますのでご注意下さい.

◎ **問い合わせ先/Contact:** 和穎/Rota Wagai （029-838-8327, rotaアットマークaffrc.go.jp）